

第三回 通院介護支援事業交流会

第三回通院介護支援事業交流会が八月二四・二五日東京都品川で開催されました。「さわやか」からは、顧問で「いきいき北九州」の山田(勲)、山田・梶原両コーディネーターと岡の四人で参加しました。今回の分科会ではパネリストとして、これまでの経験等をご報告させていただきます、また多くのご意見ご質問が出され内容の濃い交流会になりました。



全国の方々には、非常に熱意を持って支援事業を立ち上げていただけて今日に至っておりますが、大きな事故が起きないだろうかという心配を持ちながらも、この事業が進んでいって欲しいものだ

へ油井全腎協会会長挨拶

の気持ちでいます。これまで事故もなく順調に事業が進んできているのは皆様の努力の賜だと感謝致します。

移送の問題についてようやく厚生労働省・国土交通省が形づくりに動きだしたようです。これは皆様と全腎協以外にも支援のサークルが広がっている成果といえると思います。

これからも法の中でしっかりと整備されることを願って運動をしていく次第ですので皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

へ第三分科会にて

この度『さわやか』江頭会長より全腎協主催第三回通院介護支援事業交流会の参加要請を戴き初めて出席いたしました。通院事業の経過並びに現状報告を各県代表者より発



表していた

だき、討議方式で各県のご意見を聞く全

体会有り、二団体の発表をお聞きしました。その後分科会討論に参加するために、第三分科会「軌道に乗った後の展開を考える」に参加いたしました。柳田幹事の進行で二団体の現状が報告され、その後討議にうつりました。討議の中で多くの意見が出ました。やはり何処もお金の問題にて苦勞しているようです。『さわやか』としても初めから資金があつた訳ではなく、色々手を打ち頑張った結果、市より助成金をいただけるようになりました。やはり一度や二度ではなく、何度も足を運ぶ事で実った旨を意見として出しましたが、「羨ましい」と言う感想が先に立ち、なかなかご理解いただけないよう



した。

討議が進むにつれ介護保険の話になりましたが、現状ではボランティアを立ち上げたばかりのところも多く、避けては通れない介護保険事業への参入にはまだ時間がかかりそうです。各事業所独自の展開を希望しながらも、厳しい現実を思い知らされた感じですが、私も数回意見を出し、活発な討議になりましたが、少しやりすぎたと反省しています。最後に「今回の交流会は今まではなく良かった」と聞き嬉しくなりました。来年の交流会にも出席する事になりました。もつと多くの事例を出し、少しでも皆様の参考にしたいだけのように頑張ります。またお会いできることを楽しみにして、東京を後にしました。(山田)

へ第二分科会にて

「日常の送迎活動の課題と解決策」と題して全腎協の岸上武志理事を進行役として『さわやか』のコーディネーター山田と板橋サポートセンター「さくらの会」のコーディネーター高野さんを報告者として始めました。この第二分科会は

三十数名と多くの参加がありました。まず始めに参加者全員の自己紹介から始まりました。コーディネーターの役割は何か、ボランティアさんの募集方法は、日常の出来事など各団体ともいろいろな問題を抱えており、少しでも解決する方法が見つければと言う思いで全国各地より参加されました。

今回『さわやか』はパネラーとして参加していましたが、各団体の現状などを聞いていとも思うことですが、『さわやか』は経済的にもボランティアさんにも恵まれています。



裏面につづく



ネーターであ

この純粋な気持ちにコーデ

ています。

しかし『さわやか』は皆さんが思っているほど簡単に立ち上がってきたのではないと言いたかったです。先輩方が行政との交渉を積み重ね、たゆまない努力のおかげで七年も八年もの歳月をかけてやっと認められたのですから。事故対策・ボランティアさんの集め方・資金調達の仕方などなど各団体とも同じような悩みをもっているようで、成功している団体からのアドバイスを熱心に聞き入っていました。質疑応答・意見交換が終わり最後の締めくくりとしてこれから円滑な送迎活動を進めるために何が重要かというところで高野さんは設立してみても高野さんは設立して初めて介護を必要とする利用者が多いことがわかり今後は『さわやか』『いきいき』のような連携が理想的であると述べられ、山田コーディネーターは『さわやか』のボランティアさんは『さわやか』のボランティアさんは利益とは無関係に純粋な気持ちで行動してくださっています。

る私達も答えられるようにしてまた利用者やボランティアさんたちが気持ち良く動く体制を作っていくことが大事だと述べ第二分科会は終わりました。

高齢化社会の今、何が必要か、透析患者のみならず今後だれにでも降りかかってくるであろう通院問題をこんな一生懸命に考えている患者団体は他にないと思えました。

微力ながらもその手伝いをさせていただいていると思うとそれが明日への活力となつてこれからも頑張ろうと言う気持ちで湧いてきました。

(梶原)

〈全体会・全体討論〉

ここでも討論の中心となつたのは、介護保険との住み分けについてでした。すでに送迎事業が軌道に乗っているところでは、介護保険事業とうまく両立させて事業を展開しているようでした。まだ送迎事業を始めたばかりの事業所も介護保険を見据えた事業展開が必要になると思います。介護保険自体がまだ流動的ですので、状況に応じた対応が必要だと思えます。



ためしてみませんか？

重曹パワー

冷蔵庫の消臭

買って来たままの重曹の箱のフタを開け、箱ごと冷蔵庫と冷凍庫に2ヵ月程入れると、脱臭効果がある。その後はさまざまなクリーナーとして活用。排水口に流せば、パイプのつまりの予防に。



重曹湯は温泉気分

重曹ひと振り(20~40g)をお風呂に入れば、気分はまるで温泉。重曹が皮膚表面の余分な脂肪分を溶かし、さっぱりスベスベの肌になる。

灰皿のヤニ落とし

タバコのヤニなどのとりにくい汚れは、水を少し含ませたスポンジ、または水を含ませてよく絞った布に重曹をつけてみがく。

レンジのガンコな汚れにひと役

ガスレンジやレンジフードの油汚れ落としには、重曹をふりかけて油となじませ、しばらく置く。これをボロ布でふけば、汚れがポロポロととれる。あまり水を使わないのがポイント。ふだんの掃除は、これで十分。

お風呂の排水口の汚れを分解

ゴミ受けを取り外した排水口に重曹と塩を1カップずつ入れ、ゆっくり湯を注ぐ。重曹のアルカリ成分が汚れを分解し、においを消去。パイプの詰まり防止にもなる。